

英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業第1回 ワークショップについて

1. 開催日
平成30年11月9日（金） 9:00～14:30
2. 会場 「新橋貸し会議室 田中田村町ビル 会議室8E」
（東京都港区新橋2-12-15 田中田村町ビル）
3. プログラム
別紙参照
4. 参加人数 約80名
5. 参加者内訳
 - ① シーズ側出席者
英知事業 採択者
 - ・課題解決型廃炉研究プログラム
 - ・共通基盤型原子力研究プログラム
 - ・国際協力型廃炉研究プログラム
 - ・戦略的原子力共同研究プログラム
 - ・廃炉加速化研究プログラム
 - ・廃止措置等基盤研究・人材育成プログラムJAEA 研究者
 - ② ニーズ側出席者
経済産業省
東京電力HD
NDF
IRID
三菱重工業
TPT
ATOX
MRI
 - ③ 事業推進
文部科学省
PDPO
JAEA CLADS

以上

平成30年度

英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業

第1回 ワークショップ

開催日 平成30年11月9日(金) 9:00～14:30

会場 「新橋貸し会議室 田中田村町ビル 会議室8E」
(東京都港区新橋2-12-15 田中田村町ビル)

—————プログラムのご案内—————

- 9:00～ 9:15 開会挨拶
池田 一郎
(文部科学省研究開発局原子力課 放射性廃棄物企画室長)
山名 元
(原子力損害賠償・廃炉等支援機構 理事長)
- 9:15～ 9:35 廃炉研究開発において求められる課題提案力
〔ニース側発表〕 宮本 拓人(原子力損害賠償・廃炉等支援機構)
- 9:35～ 10:10 燃料デブリ取出し時における放射性核種飛散防止技術の開発
〔シース側発表〕 鈴木 俊一(東京大学)
- 10:10～ 10:45 合金相を含む燃料デブリの安定性評価のための基盤研究
〔シース側発表〕 桐島 陽(東北大学)
- 10:45～ 10:50 休憩
- 10:50～ 11:25 ガンマ線画像スペクトル分光法による高放射線場環境の画像化による定量的放射能分布解析法
〔シース側発表〕 谷森 達(京都大学)
- 11:25～ 12:00 先端計測技術の融合で実現する高耐放射線燃料デブリセンサーの研究開発
〔シース側発表〕 萩原 雅之(高エネルギー加速器研究機構)
- 12:00～ 13:00 昼休憩
- 13:00～ 13:35 アルファダストの検出を目指した超高位置分解能イメージング装置の開発
〔シース側発表〕 黒澤 俊介(東北大学)
- 13:35～ 14:10 ナノ粒子を用いた透明遮へい材の開発研究
〔シース側発表〕 渡辺 隆行(九州大学)
- 14:10～ 14:25 総合討論・まとめ
- 14:25～ 閉会挨拶
岡本 孝司
(日本原子力研究開発機構 廃炉国際共同研究センター長)

※シース側の発表は1課題あたり、発表20分、議論15分の計35分としております。